



検査番号:

担当医氏名:

患者氏名:

採取日:

患者の年齢:

採取時刻:

性別:

結果印刷日:



## 有機酸検査 - 栄養と代謝におけるプロフィール検査

尿内の代謝マーカー

標準値

検査値

基準人口 - 13歳以上の成人女性

(mmol/mol クレアチニン)

### 消化器系内の真菌増殖

#### イーストと真菌マーカー

項目	標準値	検査値	グラフ
1 シトラマル酸	≤ 3.6	0.65	
2 5-ヒドロキシメチル-2-フロイン	≤ 14	14	
3 3-オキソグルタル酸	≤ 0.33	0	
4 フラン-2,5-ジカルボキシ酸	≤ 16	H 19	
5 フランカルボニルグリシン	≤ 1.9	1.4	
6 酒石酸	≤ 4.5	H 8.6	
7 アラビノース	≤ 29	H 88	
8 カルボキシクエン酸	≤ 29	8.8	
9 トリカルバリル酸	≤ 0.44	0.15	

#### 吸収不全とバクテリアマーカー

10 2-ヒドロキシフェニル酢酸	0.06 - 0.66	0.47	
11 4-ヒドロキシフェニル酢酸	≤ 19	8.7	
12 4-ヒドロキシ安息香酸	≤ 1.3	0.60	
13 4-ヒドロキシ馬尿酸	0.79 - 17	7.1	
14 馬尿酸	≤ 613	495	
15 3-インドール酢酸	≤ 11	2.6	
16 コハク酸	≤ 9.3	H 20	
17 HPPHA (クロストリジママーカー)	≤ 208	36	
18 4-クレソール (C. ディフィシル)	≤ 75	15	
19 DHPHA (善玉細菌)	≤ 0.38	0.22	

# The Great Plains Laboratory, Inc.

検査番号:

担当医氏名:

患者氏名:

採取日:

尿内の代謝マーカー

標準値  
(mmol/mol クレアチニン)

検査値

基準人口 - 13歳以上の成人女性

## シュウ酸塩代謝物

20	グリセリン酸	0.77 - 7.0		4.6	
21	グリコール酸	16 - 117		66	
22	シュウ酸	6.8 - 101	H	112	

## 解糖回路の代謝

23	乳酸	≤ 48		8.4	
24	ピルビン酸	≤ 9.1		0.49	
25	2-ヒドロキシ酪酸	0.03 - 1.8		0.88	

## クレブス回路代謝物

26	コハク酸	≤ 9.3	H	20	
27	フマル酸	≤ 0.94		0.50	
28	リンゴ酸	0.06 - 1.8		1.8	
29	2-オキシグルタル酸	≤ 35		0.19	
30	アコニチン酸	6.8 - 28		20	
31	クエン酸	≤ 507		387	

## 神経伝達物質代謝物

32	ホモバニリン酸 (HVA) (ドーパミン)	0.80 - 3.6		2.4	
33	バニルマンデリン酸 (VMA) (ノルアドレナリン, アドレナリン)	0.46 - 3.7		2.3	
34	HVA / VMA 比率	0.16 - 1.8		1.0	
35	5-ヒドロキシインドール酢酸 (5-HIAA) (セロトニン)	≤ 4.3		0.93	
36	キノリン酸	0.85 - 3.9		1.7	
37	キヌレン酸	0.17 - 2.2		2.0	
38	キノリン酸 / 5-HIAA比率	0.42 - 2.0		1.8	

## ピリミジン代謝物 - 葉酸代謝

39	ウラシル	≤ 9.7		2.3	
40	チミン	≤ 0.56		0.15	

検査番号:

担当医氏名:

患者氏名:

採取日:

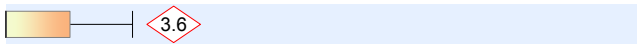
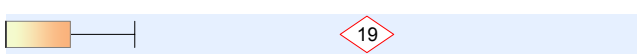
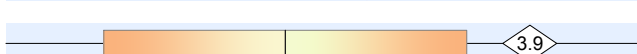

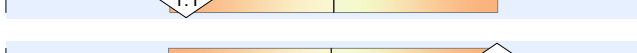
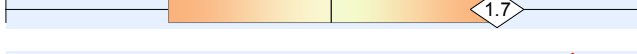
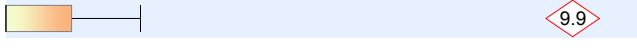
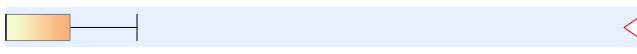
尿内の代謝マーカー

標準値  
(mmol/mol クレアチニン)

検査値

基準人口 - 13歳以上の成人女性

## ケトン&脂肪酸酸化

41	3-ヒドロキシ酪酸	≤ 3.1	H	3.6	
42	アセト酢酸	≤ 10	H	19	
43	4-ヒドロキシ酪酸	≤ 4.8		3.9	
44	エチルマロン酸	0.44 - 2.8		1.1	
45	メチルコハク酸	0.10 - 2.2		1.7	
46	アジピン酸	0.04 - 3.8	H	9.9	
47	スペリン酸	0.18 - 2.2	H	22	
48	セバシン酸	≤ 0.24	H	0.35	

## 栄養素マーカー

### ビタミンB12

49	メチルマロン酸*	≤ 2.3		0.90	
----	----------	-------	--	------	---

### ビタミン B6

50	ピリドキシン酸 (B6)	≤ 34	H	86	
----	--------------	------	---	----	--

### ビタミン B5

51	パントテン酸 (B5)	≤ 10	H	152	
----	-------------	------	---	-----	--

### ビタミン B2 (リボフラビン)

52	グルタル酸*	0.04 - 0.36	H	0.43	
----	--------	-------------	---	------	--

### ビタミン C

53	アスコルビン酸	10 - 200	H	713	
----	---------	----------	---	-----	--

### ビタミン Q10 (CoQ10)

54	3-ヒドロキシ-3-メチルグルタル酸*	0.17 - 39		11	
----	---------------------	-----------	--	----	--

### グルタチオン先駆物質とキレート物質

55	N-アセチルシステイン(NAC)	≤ 0.28		0.14	
----	------------------	--------	--	------	--

### ビオチン (ビタミン H)

56	メチルクエン酸*	0.19 - 2.7		1.2	
----	----------	------------	--	-----	--

\*酵素反応において、必要不可欠な共同因子(ビタミンやミネラル)が欠如しているため、\*がついている機能性マーカーが高く検出されることがあります。

# The Great Plains Laboratory, Inc.

検査番号:

担当医氏名:

患者氏名:

採取日:

尿内の代謝マーカー

標準値  
(mmol/mol クレアチニン)

検査値

基準人口 - 13歳以上の成人女性

## 解毒の指標物質

57	ピログルタミン酸	10 - 33		23	
58	オロチン酸	0.06 - 0.54	H	0.55	
59	2-ヒドロキシ馬尿酸	≤ 1.3	H	1.6	

## アミノ酸代謝物

60	2-ヒドロキシイソ吉草酸	≤ 0.42		0	
61	2-オキシイソ吉草酸	≤ 2.1		0	
62	3-メチル-2-オキシ吉草酸	≤ 0.87		0	
63	2-ヒドロキシイソカプロン酸	≤ 0.48		0.05	
64	2-オキシイソカプロン酸	≤ 0.37		0	
65	2-オキシ-4-メチオール酪酸	≤ 0.16		0	
66	マンデル酸	≤ 0.21	H	0.24	
67	フェニル乳酸	≤ 0.20		0.15	
68	フェニルピルビン酸	0.20 - 1.9		1.3	
69	ホモゲンチジン酸	≤ 0.36		0.18	
70	4-ヒドロキシフェニル乳酸	≤ 0.80	H	0.99	
71	N-アセチルアスパラギン酸	≤ 3.0		0.91	
72	マロン酸	≤ 9.7		5.5	
73	3-メチルグルタル酸	≤ 0.76		0.74	

## 骨代謝物

74	リン酸	1 000 - 5 000		1 357	
----	-----	---------------	--	-------	--

検査番号:

担当医氏名:

患者氏名:

採取日:

## 液体摂取の指標

75 \*クレアチニン

85 mg/dL

\*クレアチニンテストは、採取された尿検体の液体量がそれぞれ異なるため、代謝マーカの数値を一定化し調節するために行われます。尿がどれだけ採取されたかによって、尿クレアチニン値も異なります。サンプル内のクレアチニンが20mg/dL以下である場合、検査基準に達しておらず、検査に適していない検体になります。この基準値外のクレアチニン値を把握して検査を受けたい場合は、担当医や担当者にご連絡ください。

### 検査フォーマットの説明

有機酸検査の標準値は、全ての年齢層から、病的疾患や精神的な障害がない個人グループにより採取された尿サンプルを使って、その数値が確立されています。この範囲は、平均と標準偏差(Standard Deviation)を計算することによって決定されており、平均の $\pm 2SD$ として示されています。標準値は年齢と性別に特定しており、成人男性( $\geq 13$ 歳)、成人女性( $\geq 13$ 歳)、男児( $< 13$ 歳)、女児( $< 13$ 歳)から成り立っています。

有機酸検査と菌有機酸検査結果の新しい検査フォーマットは、2つの表示タイプがあります。下記の結果サンプルをご覧ください。

一つ目の<標準値内のレポート(例)>は、数値が標準値内(Normal Range)である場合、プラス(+)、もしくはマイナス(-)標準偏差値として表示されています。

二つ目の<高い数値のレポート(例)>は、数値が標準値の上限よりも高い場合に示されます。この場合グラフの標準値範囲は、狭くなり、その異常値が一目で分かるように表示されます。標準値の下限は表示されません。

両方のケースで、患者の数値はグラフ上のダイヤモンド枠の中に、その数値が示されます。数値が標準値内であれば黒の枠のダイヤモンドで、数値が高い、もしくは低い場合は赤の枠のダイヤモンドに示されます。

#### 標準値内のレポート(例)



#### 高い数値のレポート(例)

